

の まま で いい の ?

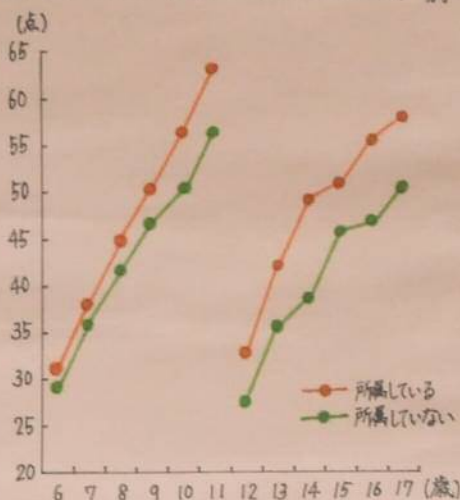
子どもの運動格差

★調べようと思った理由★

体育の授業を受けていて、前から運動のできる人とできない人の差が大きいと感じていました。それなのに、体カテストの結果は年々上がっていると聞きます。そこで、運動能力の格差について調べてみました。

運動を行っている者と行っていない者の比較

運動部・スポーツクラブ所属別の新体カテスト合計点 (平成21年度)



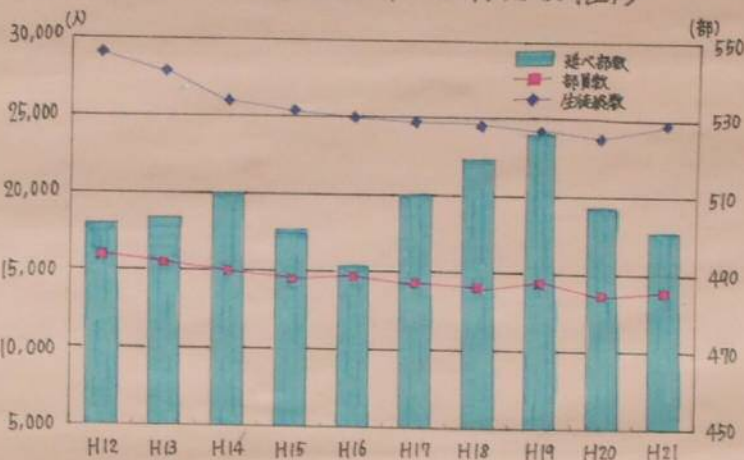
(注) 6歳～11歳、12歳～19歳および男女で得点基準は異なる

(文) 対象者、子どもの体力向上のための運動の取り組みについて 参考)

このグラフを見ると、生徒総数に対し運動部に入っている人の人数は約半分で、運動をしている人としていない人の二極化がよく分かります。

このグラフを見ると13歳から徐々に、運動をしている人としていない人の体力の差が開いてきていることが読み取れます。これより、この時期に運動をして、なるべく差をつけないようにすることが大事だと分かります。

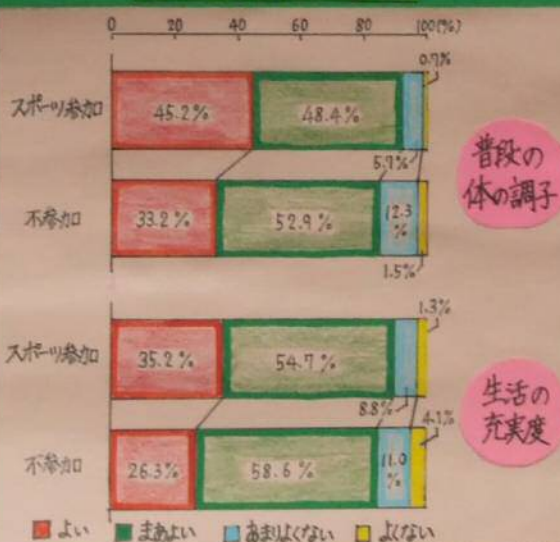
北九州市内中学校の運動部数と部員数の推移



(北九州市スポーツ振興計画 参考)

運動を行っている者と行っていない者の二極化

スポーツをする事の良さ



普段の体の調子

生活の充実度

このグラフを見ると、スポーツをすると普段の体の調子が良くなったり、生活の充実感が増したりすることが分かります。このように、スポーツをする事には体力の向上だけでなく様々なメリットがあります。

★調べて思ったこと★

今の部活動の運動部は、運動が不得意な人にとってはハードルが高すぎて入部しにくくなっているため、運動の量に格差が生まれています。この格差は、ダンス部などの軽い運動ができる部活が新しくできることで埋まるのではないかと思います。ぜひ取り入れてもらいたいです。